

「令和の名刀・名工展」の開催について

1. **展覧会名称** 「令和の名刀・名工展」
2. **開催趣旨** 刀職者達は、時代環境の変遷によりその行先を見失いかけたが、人々は武器ではなく美術刀剣という在り方にその未来を見出した。日本刀は千年余の歴史があり、工芸史上重要な地位を占めるものである。そしてこの現代において、長年の伝統を継承しつつ、古の模倣や従来への踏襲に終わらない一層の技術錬磨の上に、新しい時代とともにある日本刀職方技術の姿を築き上げることが、本展覧会に課せられた使命である。
本展覧会は、公募による展覧会として厳正な基準に基づく評価を通し、作刀技術・研磨技術・外装技術の健全な発展と人材育成に寄与することを願うものである。
3. **主催** 公益財団法人日本美術刀剣保存協会・全日本刀匠会
4. **会場・会期** 東京会場（刀剣博物館）
2022年（令和4年）8月6日（土）～9月4日（日）
岡山会場（備前長船刀剣博物館・林原美術館）
2022年（令和4年）9月30日（金）～11月27日（日）
5. **募集部門** 作刀・刀身彫・彫金・研磨・白鞘
刀装（拵・拵下地・鞘塗）・柄前・白銀の8部門
6. **出品作品** 2020年（令和2年）1月1日以降に自己が製作・工作したもの
刀剣の出品作品には、作品受付時に登録証の原本を添付すること
（公募展に未発表かつ巡回する全ての会場・会期に展示可能なものに限る）
7. **書類受付** 2022年（令和4年）3月24日（木）～3月31日（木）
8. **作品受付** 2022年（令和4年）5月9日（月）～11日（水）刀剣博物館
9. **出品料** 10,000円
10. **賞の種類** 大賞・準大賞・入賞
11. **その他** ・オープン参加
（現代刀職展無鑑査出品・お守り刀展覧会特待者出品はありません）
・本展開催年は「お守り刀展覧会」を開催しません。

※その他本展詳細は決定次第、順次お知らせいたします。

<お問い合わせ先>

公益財団法人日本美術刀剣保存協会

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-12-9

電話 03-6284-1000（平日 9:30～17:30）

全日本刀匠会

〒700-0904 岡山県岡山市北区柳町 2-1-1

電話 086-227-5721（平日 10:00～18:00）